

## 下部尿路症状に用いる質問票・QOL 評価(第1弾) 〜質問票・QOL 評価の紹介〜

NPO 快適な排尿をめざす全国ネットの会理事

平成リハビリテーション専門学校 認定作業療法士 細川 雄平

皆さん、こんにちは!! 平成リハビリテーション専門学校の細川雄平と申します。

今回は、下部尿路症状に用いる質問票・QOL評価について紹介したいと思います。排尿障害には、切迫・腹圧・溢流・機能性の4つのタイプがあり、特定するための評価や質問票が存在します。下部尿路症状診療ガイドラインで挙げられている以下の3つの質問票について紹介させていただきます。

1. 主要下部尿路症状スコア (CLSS: Core Lower Urinary Tract Symptom Score)

何[	回くらい、	尿をしま	したか							
1	朝起きてから寝るまで			0		1		2	3	
				7回以下		8~9回		0~14回	15 回以上	
2	夜寝ている間			0		1		2	3	
2					0 🖾		1 🖾		2~3 回	4回以上
LT.	下の症状か	i. どれく	らいの別	腹であり	ましたか					
						なし	75 to 5	たに	時々	いつも
3	我慢できないくらい、尿がしたくなる					0		1	2	3
4	我慢できずに、尿がもれる					0		1	2	3
5	セキ・クシャミ・運動の時に、尿がもれる					0		1		3
6	尿の勢いが閉い					0	100	1	2	3
7	尿をするときに、お腹に力を入れる					0		1	2	3
8	尿をした後に、まだ残っている感じがする					0		t	2	3
9	膀胱 (下腹部) に痛みがある					0	- 3	t	2	3
10	尿道に痛みがある					0	0 1		2	3
1 1	ら 10 の組 2	E状のうち 3	. 困る症	E状を 3 7 5	の以内で達 6	Rんで番	号に <b>〇</b> を 8	つけて 9	てください 10	0 該当なし
上で	選んだ症状	伏のうち.	もっと	も困る症	状の番号に	Oをつ	けてくだ	さい	(1つだけ)	0
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	0 該当なし
现在	の排尿の特	犬態がこの	つまま変	わらずに	続くとした	5. E	う思います	「か?		
	0	1		2	3		4		5	6
	0						気が重い			

CLSS は、日本で開発された主要な症状を聞き落と さないための 10 項目から成る質問票です。

特定の疾患・状態を対象としたものでないため、初診を含めた診断の確定していない段階での基本評価ではこの質問票が有用です。

スコア:30 点満点

特徴:スコアが高いほど、症状が重い。

2. 過活動膀胱症状スコア (OABSS: Overactive Bladder Symptom Score)

症状 朝起きた時から寝る時までに、何回くらい尿を しましたか 15 回以上 夜寝てから朝起きるまでに、何回くらい尿を するために起きましたか 3回以上 なし 週に 1 回より少ない 急に尿がしたくなり、我慢が難しいことが ありましたか 週に1回以上 1日1回くらい 1日2~4回 1日5回以上 なし 週に1回より少ない 急に尿がしたくなり、我慢できずに尿を もらすことがありましたか 1日1回くらい 1日5回以上 合計点数

0ABSS は、過活動膀胱に特異的な症状質問票で、昼間頻尿、夜間頻尿、尿意切迫感、切迫性尿失禁の4項目から成ります。スコアは15点満点です。

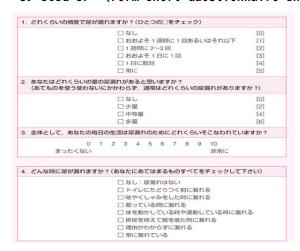
<過活動膀胱の診断基準>

質問3が2点以上かつ合計スコア3点以上

<重症度判定>

軽症 : 5 点以下 中等度: 6~11 点 重症 : 12 点以上

## 3. ICIQ-SF (Form Short-Questionnaire Incontinence on Consultation International)



ICIQ-SF は、尿失禁に特異的な QOL 質問票で、症状および QOL に関する 4 項目の質問から成る。

・スコア: 21 点満点(質問 1~3)

※問4において、どんな時に尿が漏れるかの記録が重要となる。

の記録が重要となる。

・特徴:スコアが高いほど、症状が重い

今後の排泄リハビリテーションの参考になれば幸いです。よろしくお願い致します。

## < 対献 >

- 1) 日本排尿機能学会: 男性下部尿路症状診療ガイドライン. ブラックウェルパブリッシング, pp38-55, 東京, 2008
- 2) 日本排尿機能学会: 女性下部尿路症状診療ガイドライン. ブラックウェルパブリッシング, pp54-81, 東京, 2013